

しごとと、かぞくと、わたし

～当事者家族と「である」ことからライフの中のワークを考える～

12月22日(金)

スケジュール

- 13:00 受付開始
- 13:30 開会
- 13:35 第1部 講演
- 14:40 第2部 パネルディスカッション
- 16:00 閉会

参加
無料

場 所 岩手県立大学 講堂

定 員 100名またはオンライン(Zoom)によるライブ参加

対 象 企業・施設の経営者、人事労務担当者、企業等に勤務する方、育児や介護中の方、学生、行政関係者、その他興味のある方

[講演]

題目 当事者とその家族に「である」ことから始めよう

子育て、介護…、働く人たちは、何かを「抱える」ことになった途端、働き方の調整が求められます。そして、その「調整」の多くを女性が担っているという現状があります。「子育て」をテーマとしたワークライフバランスには注目が集まるようになってきましたが、「介護」、それも「高齢者」だけではなく「障害を持った子ども」「医療的ケアが必要な子ども」の「介護」について、ワークライフバランスについて考えたことはあるでしょうか。まずは、当事者とその家族に「である」ことから始めませんか。

[第一部]

13:35
}
14:35

講師 岩手日報社編集局編集委員室 黒田 大 介 氏
副室長兼論説委員会委員

心のケア、障害福祉、女性問題などの取材に携わる。
連載「つなぐ 農・食・命」(2022年1～6月)、「自死予防 岩手の今」(22年8月)
「まだ見ぬ景色へ ボーダーレス新時代」(23年1～6月)などを担当。
岩手県立大学社会福祉学部や岩手医大看護学部などで講師を務めるほか、講演や雑誌への寄稿も多数。
趣味は欧米文学、ジャズ、登山、献血。



[パネルディスカッション]

当事者家族である小笠原氏と当事者家族の雇用を支える高橋氏、そして、子育て中の庄司氏とのパネルディスカッションを通して、女性にとって働くことの意味と、それを支えることの「当り前さ」について考えます。

[第二部]

14:40
}
15:55

パネリスト

- 小笠原 綾 子 氏 社会福祉法人新生会 みちのく療育園メディカルセンター 社会福祉士
- 高橋 栄 子 氏 ゆうゆい株式会社 訪問看護ステーションありがとう ケアプラン室ありがとう 代表取締役・看護師・ケアマネジャー
- 庄 司 知恵子 氏 岩手県立大学社会福祉学部 准教授

コーディネーター

- 實 方 由 佳 氏 岩手県立大学社会福祉学部 准教授

■お申込・お問合せ先

(公財) いきいき岩手支援財団 総務・公表課

盛岡市本町通三丁目 19-1 岩手県福祉総合相談センター3階
TEL 019-626-0196 FAX 019-625-7494

お申し込みはこちらから

セミナーの詳細は

いきいき岩手 子ども 検索

